

国際ロータリー第2840地区

沼田中央ロータリークラブ

NUMATA CHUO ROTARY CLUB

2018-2019

No.1566 2019.3.7 会長:小曽根一雄 幹事:茂木清七

会員数:47(休会 1)会場出席:32 欠席:14 出席率:69.57% 前々回出席率:93.48% 点鐘:小曽根一雄会長 司会:武井順一副SAA

国歌斉唱

ロータリーソング:沼田中央ロータリーの歌(タクト:赤井幸夫)

例会場:ホテルベラヴィータ 3F 12:30~



来訪ロータリアン



沼田RC

水石清治様 木下康彦様 深津明子様

会長の時間

小曽根一雄 会長



昨日3月6日は、三十三 Rotary 年前に当クラブが創立総 会を開催した日でした。 R I 加盟認証が3月16日、 チャーターメンバー56名 でのスタートでした。

> 我々も56名の仲間と ロータリー活動を行って いきたいですね。皆さん、

ご紹介下さい。広報していきましょう。

また、6日は『啓蟄』でした。啓蟄とは、土の中で縮こまっていた虫が穴を開いて動き出す日の事だそうで、具体的には「さあ、働くぞ」と意気込み始める日の事を云うそうです。この時期は一雨降るごとに気温が上がっていき、春に近づいていきます。日射しも徐々に温かくなってきて、春はすぐそこまで来ていますね。

先日の3日は2840地区第5分区の IM(インターシティミーティング) に、当クラブより19名の参加があり、木村博奉仕プロジェクト委員長、高橋昭紀クラブ会員組織強化委員長そして私より発表を致しました。

私は長期戦略についてお題を預かりました。このクラブ 運営もロータリー活動を行うのは『人』です。基本を忘れ ずに「人を育てることが、もっとも重要な事項ではないか。 長期戦略では、語り合い、知り合い、活動しながら、育てる」 を目標に活動していく事を話しました。また「何故、今、 名称変更なのか」を発表致しました。他のクラブの活動発 表も参考になる事が多く、勉強になりました。参加して良 かったです。

さて、2014年10月のRI理事会で3月の重点分野を 『水と衛生月間』としました。地域社会における安全な水 の公平な提供をするための活動を、月間重要分野に掲げて おります。

私たちは、蛇口を捻れば衛生的な水が飲めますが、そのような環境になっていない地域には、この月間目標は大変重要な事と思います。蛇口を捻るときに、幸せを感じましょう。

また3月13日を含む一週間を「世界ローターアクト週間」として祝う事を奨励しています。当クラブにローターアクトの組織はありませんが、これからのロータリアンと思いお祝いしましょう。

幹事報告

茂木清七 幹事



- ①3月3日の第5分区 I Mでは、出席頂いた会員・発表をされた会員の皆様には大変お世話になりました。
- ②3月13日18:30より、新入会員セミナーを開催致します。入会3年未満会員の方は全員出席でお願い致します。
- ③3月14日の渋川RC3000回記念例会に、会長・幹事で 出席してきます。
- ④来週3月14日の例会では、卓話の後に臨時クラブ総会 を開催致します。

第5分区 I M報告

高橋昭紀 委員長



沼田RC60周年記念式典について



- 水石清治君より御案内がありました。
- ·5月19日(日)14時~受付
- ・ホテルベラヴィータにて



卓話

沼田RC 水石 清治様

本日、沼田RC60周年式典の御案内と新会員のメイクアップ実習に伺いました。

小曽根 一雄

- ①沼田RC 水石君、木下君、深津君、ようこそおいで下さいました。
- ②山田豊さん、卓話ありがとうございます。
- ③ I Mに多くのメンバーの参加をいただきありがとうございました。
- ④お花ありがとうございました。妻が大変喜んでおりました。感謝です。

茂木 清七

- ①先日は | Mに多くの会員の皆様に出席して頂きありがとうございました。
- ②本日、議会中の為早退させて頂きます。

山田 晃

クラブの為に頑張っている小曽根会長の一助になればと 思い、ボックスイン致します。

小林 照夫

長期戦略委員会後期の新会員セミナーを、3月13日 当会場で6時30分より行います。多くの参加をお願い致します。

山田 豊

本日は半ボケジジイが卓話を致します。お耳を汚します がおゆるし下さい。

古池 好幸

I M参加させて頂きました。

田村総 一郎・本山 佳宏

山田さん、卓話楽しみです。

沼田RCの皆様を歓迎します。



『南米アコンカグア登頂について』

12年前の1997年1月10日~2月16日にかけて挑戦した、南米最高峰アコンカグア登頂についてお話し下さいました。4名のメンバーの内、山田さんが60歳で最年長でした。

あまりの苦しさと遅々として進まない我が歩みに途中で下山も決意したそうですが、ガイドの名塚氏に励まされ、約2時間後に頂上に到着。快晴無風、頂上は意外にも広く平ら。その瞬間、万感胸に迫って思わず大声で泣いてしまったそうです。

アコンカグアには、弟で登山家の山田昇氏(故人)、息子 さん、そして豊さんと、山田家は3人もが登頂に成功して います。素晴らしい快挙です。



Intercity Meeting 2019年3月3日(日) プレヴェール渋川



小曽根会長



木村(博)委員長



高橋委員長

